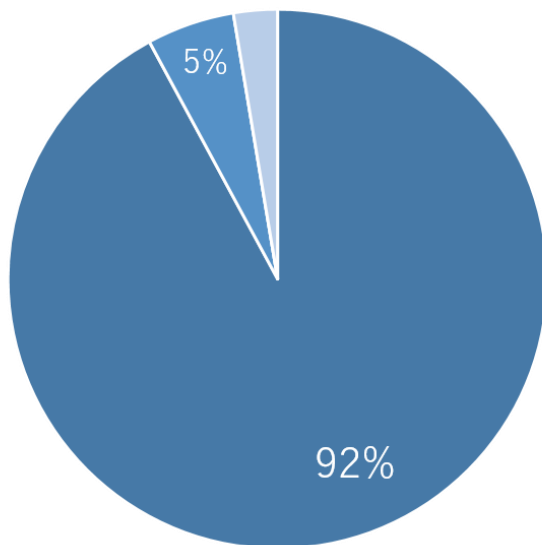


総会及び記念講演 アンケート結果

【総会について】

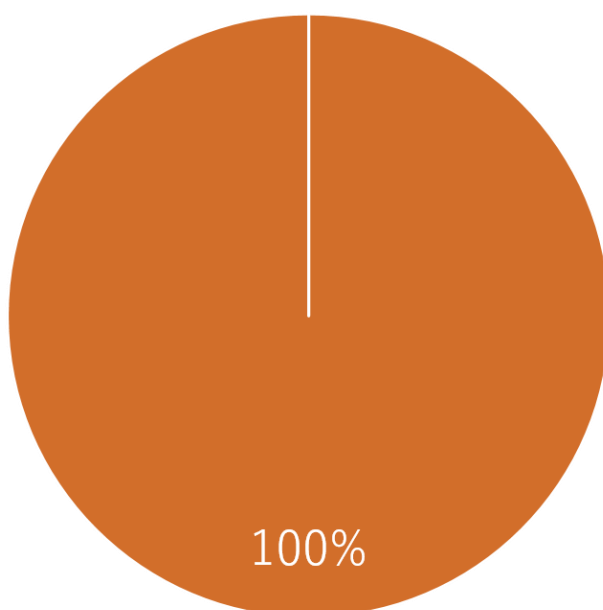
アンケート回答人数：38 人

映像や音声について



- 問題なく視聴することができた（35票）
- 一部、視聴しづらいときがあった（2票）
- 全く視聴できなかった（0票）
- その他（1票）
 - ・文字が見つらなかったです

議決の方法について



- 今回の方法で良い（38票）
- その他（0票）

総会や沖特研の運営について(一部質問には回答)

- スムーズで良かったです。お疲れ様でした！
- ご多忙な中、準備・運営等本当にご苦勞様です。
- 貴重な講話、通常学級担任にぜひ聞いていただきたいと思いました。
- おつかれさまでした。
- 多くの研修企画ありがとうございます。
- オンデマンドで参加しましたが、会議準備、運営等、事務局の皆さんが丁寧に対応して下さったので、ありがとうございます。ご苦勞様でした。
- スムーズな運営でした。美咲特支の先生方お疲れさまでした。
- 地域の小・中学校の特別支援学級等のニーズも踏まえながら、研修会も企画されていて多くの先生方に有用な情報を得られたと思います。ありがとうございます。
- 運営スタッフの皆様 お疲れ様です。素敵な講演をありがとうございました。
- ZOOM 快適に視聴できました。係の先生方、ありがとうございました！大変おつかれさまでした！また、オンデマンド配信も予定されているということでありがたいです！
- ご準備お疲れ様でした。
- 企画運営お疲れ様でした。
- 準備、運営本当にありがとうございます。チャットでの質問にもすぐにご回答くださり、ありがとうございます。
- Zoom での総会や研修会の開催は、遠方からでも参加しやすいためとても助かりました。

〈質問等〉

- 運営、ご苦勞様。地域の表議員は参加してるのかね？

《回答》

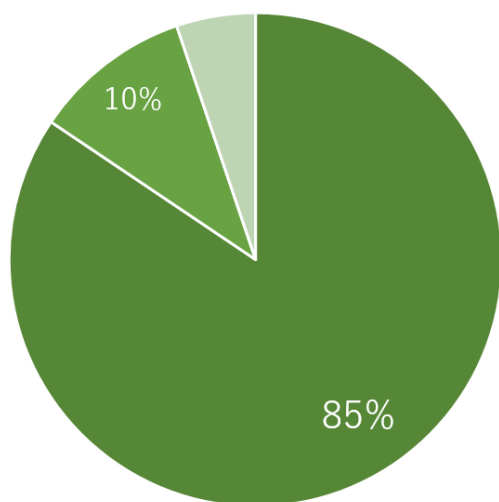
ご質問ありがとうございます。各支部の評議員の方はリモートで参加しています。

【記念講演について】

アンケート回答人数：77 人

記念講演の平均評価 ： 4.65 / 5

映像や音声について



■ 問題なく視聴することができた（65票）

■ 一部、視聴しづらいときがあった（8票）

■ 全く視聴できなかった（0票）

■ その他（4票）

- ・ 音声に雑音が入り、聞き取りづらいところがあった。
- ・ 私のパソコンの不具合ですが、前半音声聞き取れませんでした。後でiPadでの視聴に切り替えてからよく聞こえました。
- ・ 会場で直接参加しました。
- ・ 文字が見つらなかったです

記念講演について(講師への質問・感想等)

お忙しいところ沖縄県の特別支援教育のために講演をしてくださりありがとうございました。私は今、公立小学校で知的特別支援学級を担当しています。今担当している児童に DAISY 教科書や MIM のアセスメントに取り組んでいきたいと感じました。ありがとうございました。

現在自分の学級にも限局性学習症の生徒がいるので、特に数学の学習に課題があります。まだまだ色々なことを試せていないので、いろんなことを試しながら少しずつ成長を実感できるようにしていきたいと思います。

運転の教習所の話に感動しました。周りの大人があわせていくことによって、この子の人生の可能性が大きく広がることがわかりました。

色んな視点からの講話で新しい視点が生まれました。MIM を前から気になっていたもので、詳細を聞けて良かったです。ありがとうございました。

凄く勉強になりました。ありがとうございます

本日はお忙しい中、ありがとうございました。

エビデンスに基づいた具体的・効果的な指導・支援の大切に改めて気付かされました。

特に、指導する教師によって指導法が変わるという話には、まさに自分のことだとうちあたいました

た。

各発達障害について特性理解を再度行い、エビデンスに基づいて指導・支援方法を検討していきたいです。

また、今回話の中にあった合理的配慮については、まだまだ自分自身、理解が曖昧なため、今回の講話をきっかけに再度学びなおし、理解を深めていきたいです。

LD の早期発見、対応の大切さ。努力ではどうにもならないことを念頭におきながら、子どもたちと向き合えないといけないなと感じました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

LD のアセスメントがとても興味深い内容でした。もっと詳しく拝聴したいと思いました。

オンデマンド視聴も可能とのことなので、再度校内研修で学び合いたいと思います。

前もっていただいていた資料を見ながら講話が聴けたのでわかりやすかったです。合理的配慮という言葉を知ったことはあったが、板書投影や高校入試での PC 入力には知らなかった。少しずつ社会は変化していると思いました。そのためにも、個々の障がいを把握して科学的データも取り入れて、職員と共有し子どもたちに接していきたい。お忙しい中、原田先生大変貴重な講話ありがとうございました。

貴重なご講話ありがとうございました。

学習障がいはまだ知られておらず、見落とされていることを知りました。努力不足、頑張りが足りないなどの言葉で終わるのではなく、しっかりと支援をすることが大切だと改めて気づくことができました。また、DAISY 図書や MIM のアセスメントを知り、手を叩くことで促音や拗音を体に染み付かせる技を知り、ぜひやってみたいと思いました。

子どもの成功体験を多く作れるようにたくさん勉強していきたいと感じました。

今日は、貴重な時間をありがとうございました。

ミムなどの検査を初めて聞きました。LD については学びたいと思っていましたので今日の研修はとても学びが多かったです。学ぶ意欲を失わせないように、授業力は大事と感じました。ありがとうございました。

とても良い学びになりました。ありがとうございました。

本日はありがとうございました。とても勉強になりました。今日学んだ視点を意識して二学期の授業に向けて準備していきたいです。

原田先生のお話は大変興味深く拝聴しました。

学校長として、障害のある子どもの支援について、活かしていきたいと考えます。

オンラインありがたいです

中学 3 年生の支援学級担任です。高校入試に向けての合理的配慮で、医師から「学校はどう書いて欲しいの？」と言われたと保護者からありました。診断書でなく、意見書の場合は学校から「ルビふり」や「読み上げ」が必要と書いてくださいとお願いができるのか気になりました。また、沖縄は当該学年の診断書とあり、中 1 や中 2 で診断書を取る必要性や保護者が実績を作るためにも早めにとってもよいが、また金銭的な部分でも何度も診断書をもらうのはどうか、などの質問もあります。

発達障害について、とても詳しく説明していただき、わかりやすかったです。これからの特別支援教育にいかしたいと思います。

ありがとうございました。

Chatty Library 少し調べて使ってみたいと思いました。

発達障害の子どもたちへの理解が深まりとても良い講演会でした。栃木県を見習って沖縄でもぜひ PC での高校受験を実現してほしいです。

初めての支援学級担任として不安が多い中、とても勉強になりました。夏休みの間に MIM も勉強し、2 学期から生かしていけたらと思います。ありがとうございました。

MIM をやります。書字障害の児童が多い気がしています。

大変、モチベーションの上がる講演でした。エビデンスに基づいた具体的・効果的な支援をチームで考えていきたいと思います。

今年度、初めての特別支援学級担任であるため、どの内容も勉強になりました。通常学級担任のとき、大勢の中の支援が必要な子への対応が、上手くできていなかったなと反省もしました。ありがとうございました。

ありがとうございました。今後にかせるようにしていきます。

受験体制を変えて欲しいです。

原田先生の講演を拝聴することが久しぶりにできたことに感謝しております。沖縄県の抱える特別支援教育の課題等について、どのような取組が必要であるか、管理職視点、教職員視点での示唆に富んだお話を参考に、今後も頑張りたいと思います。想いにプラス根拠のある取組の推進に努めていきたいと思っています。今日は、ありがとうございました。

今回の公演で、読みに困っている児童がいたのでさっそく Chatty Library を使って読みのサポートをして、自信につなげたいと思いました。

知らなかった教具、ICT の活用法など、実践の面で参考にさせていただきました。

特性を理解したうえでの個別の支援、授業の進め方、改めて勉強になれました。

LD は、見つけにくいということで、日頃から、子ども達の「読み書き」に注目し、実態を、把握していきたい。MIM も、実践していきたい。また、スクリーニング検査についても、学びたいと思った。

ミムもストローも初めて知りました。チャティブックスは利用したことがありましたが、絵本の読み聞かせのみで、プリントの読み上げ機能は知りませんでした。

漢字が苦手な子に繰り返し練習をさせようと考えていました。指導方法を勉強したいです。

今回の講話を聞いて、発達障害の子供のことを考えながら、話しを聞くことができました。今後、特性を思い浮かべながら、合理的配慮のあり方、方法を考えていきたいと思います。貴重な講演ありがとうございました。

改めて特別支援教育の根幹の部分についての学びが足りていないと痛感しました。内容からは特別支援学校の先生方より義務教育に携わっている小中学校の先生方を中心に本日の講演を視聴させたいと感じました。事務局の方からのアーカイブの案内等をお待ちしています。

特に受験への合理的配慮や質問から派生して紹介した（本編では短かった）MIM に関する取組は各小学校で必須だと感じました。

本日は沖縄県に関する特別支援教育へのご講話（ご提言）誠にありがとうございました。

地域の小・中学校の先生方の困りに対する多くのヒント得られる研修会になったと思います。ありがとうございました。

素敵な講演をありがとうございました。多くの学びをいただきました。また、多くの振り返りの時間をいただきました。本校の子どもたちに生かしていきたいと思っています。

本校では定期テストの配慮で①ルビふり ②時間延長 ③よみあげ の支援を行っています。MiM や Dazy については聞いたことはあり、D a z y は申込もしましたが実際の利用方法がわかりません。Chatty library の情報もありがたいです！早速検索し、自分でも活用してみたいと思います。オンデマンド配信も予定されているということで感謝です。ありがとうございます！

とても分かりやすい講義ありがとうございました。オンデマンドでも視聴して理解を深めたいと思います。

児童生徒の支援に役立ちそうな情報提供ありがとうございました。

特に印象に残っているのがエビデンスに基づいた具体的な効果的な指導・支援というところです。アセスメントやチーム支援、日々の記録などの重要性を再確認できました。また、合理的配慮では chattylibrary を初めて知りました。貴重なご講話ありがとうございました。

とてもわかりやすく勉強になりました。ありがとうございました。

具体的な例がたくさん紹介されて、たいへんわかりやすい講演でした。同じ学校の特別支援に関わる職員で確認しながら参加できて、とても良かったです。夏休みで準備を整え、子どもたちへ還元したいと思います。ありがとうございました。

本日はありがとうございました。

改めて勉強になりました。エビデンス(診断や科学的根拠)があるからこの支援が必要とすることが大切であることがわかりました。

LD 学習障害の高校入試、栃木県 PC 入力に注目して研修を受けております。

私のクラスは肢体不自由で中 2 年、男子ですが、時間延長の試験を個室で対応しております。

今まさに、高校のオープンキャンパスに行っており、栃木県の取り組みに社会・地域での理解等感じられました。地域のネットワークを見習って沖縄県でもインクルーシブな教育を進めて行きたいと思います。

高等学校です。学力困難校の一つです。LD についての取組の遅れを実感しております。これらの生徒の早期発見および手だてを開発された原田先生はじめ研究された先生方に深く敬意を表します。私の子どもにも、そのような手だてができていれば、もう少し苦勞させなかったなあと、栃木の子供たちが羨ましく思いました。そして、家庭も含めて、教育にもっと時間を割くような手だてを大人は考えるべき時に来ていると思います。大変、良い講演を受講できました。ありがとうございました。

LD の子ども達のアセスメントの取り方などいろいろ紹介されておりとても参考になりました。ありがとうございました。

様々な事例をとおして、とてもわかりやすいご講演でした。ありがとうございます。

特に ADHD への対応については本校でも課題となっているので、全職員にオンデマンドを周知したいと思います。

今日は、とても心打たれて講演、ありがとうございました！

私は、本年度より～通級指導教室を担当しており、それこそ普通学級に在籍している ADHD、ASD、LD…の児童らを毎時間入れ替わり立ち替わりで共に学習しております。本来なら指導する立場にありながら、各児童の特性やつまづきを見付けながら行っており、共に学習している、と表現させていただきました。

でも、それも 1 学期までで、2 学期から～は少しずつ 1 学期で気付けた彼らの特性等に合わせた指導を行う予定です。

この時点で、先生の講話の中にありましたエビデンスに反しており、昨年度の担当教諭とは異なる指導をしているのだな、いくのだな…と反省と児童らに申し訳ない気持ちです。

でも、先生の講話の中で、今気付けたことで夏休み中に指導方法の立て直しを図りながら、2学期児童らに昨年度身に付けたことに上乗せした学習ができるよう取り組んでいきたいと思います。

また、それは通級指導教室だけでなく、普通学級の担任を持つ場合でも活かせるよう学んでいきたいと思います。

本日は、ありがとうございました！

原田先生の長年のご経験に裏打ちされた具体的なお話は、大変示唆に富むものでした。特に ADHD などの認知は進んでいるものの、学習障害（LD）の認知がまだまだ不十分であるというご指摘は、私たち小学校現場にとって喫緊の課題であると再認識いたしました。また、小学校低学年での早期発見の重要性、そして「MIM アセスメント」の導入が不可欠であるというお話は、今後の本校の支援体制構築において重要な指針となりました。

インクルーシブ教育の推進について、「特別支援教育は機能しているのか？」という問いかけから始まった先生のお話は、大変考えさせられるものでした。「ぎょうざの中に色々な具材が入っているから美味しい」という宇都宮ならではの例えで、多様な子どもたちが共に学ぶインクルーシブ教育の重要性を分かりやすくご説明いただき、深く納得いたしました。講義形式の授業では取り残されてしまう子どもたちがいるという現状、そして「発達に課題のある子どもたちも一緒にやりましょう」というインクルーシブ教育の理念を、改めて学校全体で共有し、実践していく必要性を痛感いたしました。

学校教育の課題と改善策については、少子化にもかかわらず不登校が増加し、基礎学力の二極化が進んでいるという日本の教育の現実、特に首都圏での中高一貫教育の流行など、現代の教育が抱える構造的な課題について深く掘り下げていただきました。その上で、いじめや不登校への早期発見とチーム支援、そして講義型から「協働型学習」への転換が重要であるという改善策は、まさに本校が目指すべき方向性であると確信いたしました。教科書を隅々まで教えるという考え方が、子どもの主体的な学びを阻害しているというご指摘は、これまでの指導を見直す大きなきっかけとなります。

「エビデンス」に基づいた支援の重要性については、特別支援教育において、教員の主観ではなく「科学的データ」「エビデンス」に基づいたニーズの把握が不可欠であるというお話は、とても納得いたしました。健康面では様々なデータが取られているにも関わらず、学力や教育的ニーズに関するエビデンスが不足しているという現状を打開し、誰もが納得できる基準を確立することの重要性について考えさせられました。

発達障害への具体的な理解と対応については、ADHD や ASD の特性、そしてそれらを持つ子どもたちへの具体的な指導方法など、詳細にご教示いただきました。特に、薬物療法だけでなく環境調整の重要性、叱るのではなく「教える」こと、その場で具体的に伝えること、そして小さな成功体験を積み重ねることの大切さは、日々の指導において常に意識すべき点であると心に刻みました。また、感覚過敏への配慮や、読み書きが苦手な子どもたちへの「DAISY」や「音声付き教科書」、そして「MIM アセスメント」の活用など、具体的な支援策の提示は大変実践的で、今後の校内研修に活かしていきたいと考えております。

本日はお忙しい中、貴重なご講演を賜り、誠にありがとうございました。原田先生の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

講師のお話は、小学校や中学校の先生方にぜひ聞いて欲しい内容でした。

読み・漢字が覚えるのが苦手な児童がおり、DAISY 教科書、MIM の活用について、とても参考になりました。「担任の主観ではなく、エビデンスに基づいた具体的・効果的な指導・支援」で、子どもたちと関わっていきたいと思います。今日は、ありがとうございました。

担任が変わると、指導方法などが変わってしまうということは、少なからずあります。先生のお話から、アセスメントの重要性を改めて感じました。

貴重なご講話、ありがとうございました。

DAISY 教科書の活用や Chatty Library 等の具体的な紹介があり興味を持ちました。現在知的支援学級を担当していますがひらがな読みがなかなか定着できない児童がいます。くもんの絵カード等を活用して文字と音のマッチングをと繰り返し学習していました。また、言葉の発達の遅れはあっても教科書の読みが大好きな児童がいます。先生から紹介していただいた DAISY や Chatto Library を調べて上手く活用し子どもたちの成長につなげることができればと思います。貴重なご講話をありがとうございました。

自分の判断でこどもの支援を決めるのではなく、エビデンス、数値を根拠に支援していくことを心がけていきたいと思いました。

また、小さな成功体験を積み重ねることを大事に、

一つ一つ事例をもとに今こんな場面だったけどどうだった？等伝えていきたいと思いました。

特別支援教育に関わることで、日頃から気になっていたことが網羅された内容で良かったです。特に、学習障害への支援は、今現場でも対応に苦慮しているところで、アセスメントや対応の仕方は大変学びになりました。研修の機会をくださりありがとうございました。

とても分かりやすい内容でした。

2 学期の実践に生かしたいと思います。

資料も詳しく、講師の先生が、大変わかりやすく解説していただいたので良かったです。発達障害と合理的配慮の具体策だったので、取り上げた内容も良かったです。学ぶことの多い研修でした。ありがとうございました

地域支援における、センター校的役割を果たすためにも、発達障害の専門性を上げるとともに、小・中学校の学級経営や授業経営について知らんと話せんわと思った。

歯止めのかからん、市町の特別支援学級、知的よりも自閉情緒が多い原状、高等部段階から、特別支援学校や通信に流れる現在、沖縄県の課題を再確認するいい機会となった。

校長の学校経営の明確化と、共有化が必要だね

お忙しい中、講演会を開催いただきありがとうございました。

私自身の発達障がいに対する知識不足を感じたのと、様々な支援の方法があることを学びました。今後とも知識を付けて、生徒たちの特性に合わせて対応できればと思います。